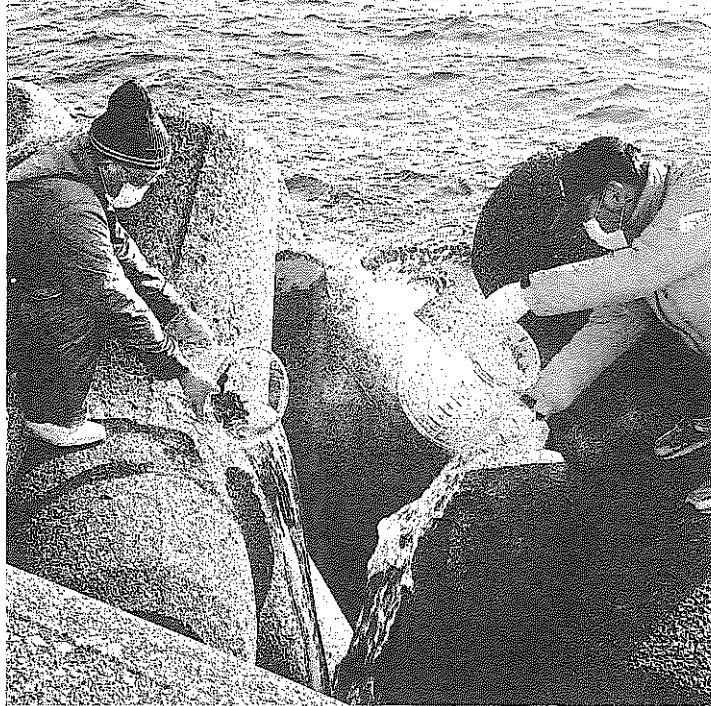


# つり環境ビジョン LOVE BLUE

## 釣りフェス 初日に放流



大黒海づり施設でカサゴの稚魚を放流する関係者



LOVE BLUE 事業として実施

021初日の1月22日(金)、神奈川県横浜市鶴見区の大黒海づり施設内でカサゴの稚魚5000尾が放流された。(公財)日本釣振興会

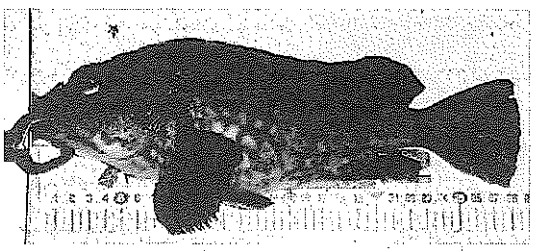
釣りフェスティバル2021初日の1月22日(金)、神奈川県横浜市鶴見区の大黒海づり施設内でカサゴの稚魚5000尾が放流された。(公財)日本釣振興会

当日は同海づり施設職員も放流に協力、「毎年ありがとうございます。」と、(公財)日本釣振興会

と(一社)日本釣用品工業会の協働事業である「つり環境ビジョン」コンセプトに基づき「LOVE BLUE事業」の一環として、釣りファンに喜んでもらうことと釣魚資源保全に向け、(公財)神奈川県栽培漁業協会とLOVE BLUE専門機関の連携により実施された。

本日(一社)日本釣用品工業会は「お礼と歓迎の言葉で迎えられた。」と、お礼と歓迎の言葉で迎えられた。例年、釣りフェスティバルに合わせて会場のあつりパークで放流式典を行っていたが、今年はコロナ禍における状況や釣りフェスがオンライン開催となったことを踏まえ、2カ所で行っていた放流を大黒海づり施設の1カ所に集約した。

LOVE BLUE委員会では、「今後も各地の専門機関やご関係先の皆様と連携しながら、釣り人の皆様にご喜んで頂くことはもとより、魚族資源の保護増殖を目指した放流事業を全国展開して参ります」としている。同施設は、長さ200m×幅17m(延べ長さ400m)の釣りデッキと問大物賞



- また、同施設は先ごろ2020年の年間大物賞を発表した。各部門の成績は以下のとおり。
- ▽ルアーシーバスの部 90・0 cm▽餌釣りスズキの部 83・0 cm▽タコ
  - の部 4・15 kg▽クロダイの部 52・5 cm▽アイ
  - ナメの部 43・0 cm▽バルの部 27・5 cm▽カ
  - サゴの部 28・5 cm▽メジナの部 41・0 cm▽イ
  - シモチ・ニベの部 42・0 cm▽マゴチの部 60・0 cm▽シマダイの部 36
  - ・5 cm
- 大物賞を獲得した釣り人には賞状と10回無料パスカードが進呈される。なお、今年も既に各魚種のエントリーが始まっており、「これはと思われず、この声かけ下さい」と呼びかけている。